



会社紹介



会社概要



《社名》 キッセイコムテック株式会社
《代表》 代表取締役社長 城取 学
《設立》 1985年（昭和60年）4月1日
《資本金》 3億3千4百万円
《社員数》 361名（2022年6月1日現在）

《本社》 長野県松本市和田 4010番10 〒390-1293
TEL: 0263-40-1122（代表）
FAX: 0263-40-1126

《拠点》 東京事業所、ロジスティクスセンター（東京都）、
レンタル事業部北海道営業所・東北営業所・
中日本営業所・西日本営業所・九州営業所

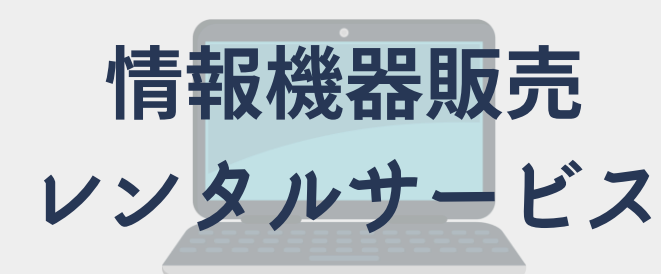
《グループ》 キッセイ薬品工業（株）、KISSEI AMERICA, INC、キッセイ商事（株）、ハシバテクノス（株）

《認証》 国際規格ISO27001認証取得（セキュリティ）
国際規格ISO9001認証取得（品質）
国際規格ISO14001認証取得（環境）
国際規格ISO20000認証取得（ITサービスマネージメントシステム）

事業内容

■システムインテグレーションサービス

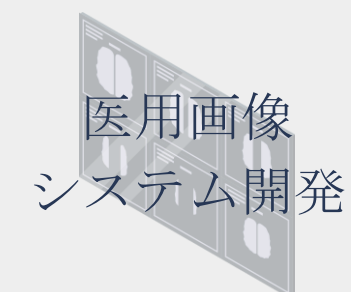
ソフト・ハードからインフラにいたるまで、システムに関わるサービスをトータルにご提供します



●自治体・公共システムサービス



●メディカルシステムサービス



医療第2システムソリューション部 パッケージ製品

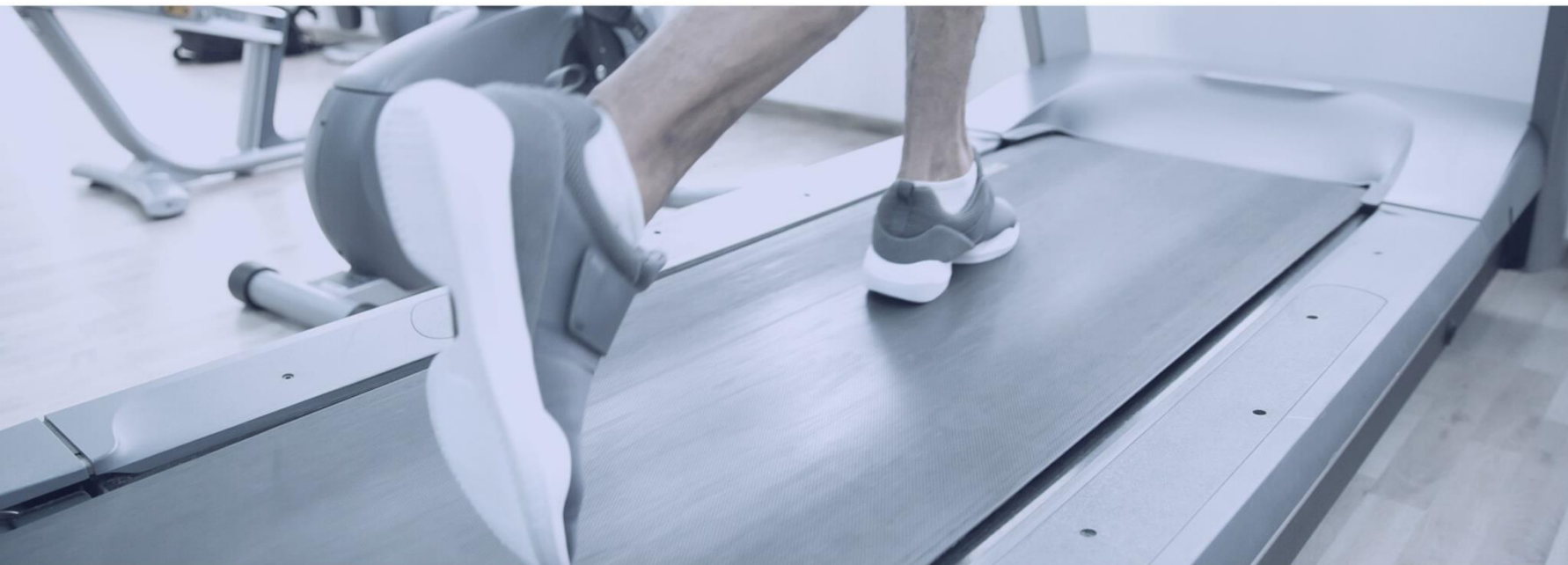


睡眠解析

[睡眠解析研究用プログラム SleepSign](#)

[睡眠-覚醒リズム研究用プログラム SleepSign Act](#)

[睡眠解析研究用プログラム SleepSign-Lite](#)

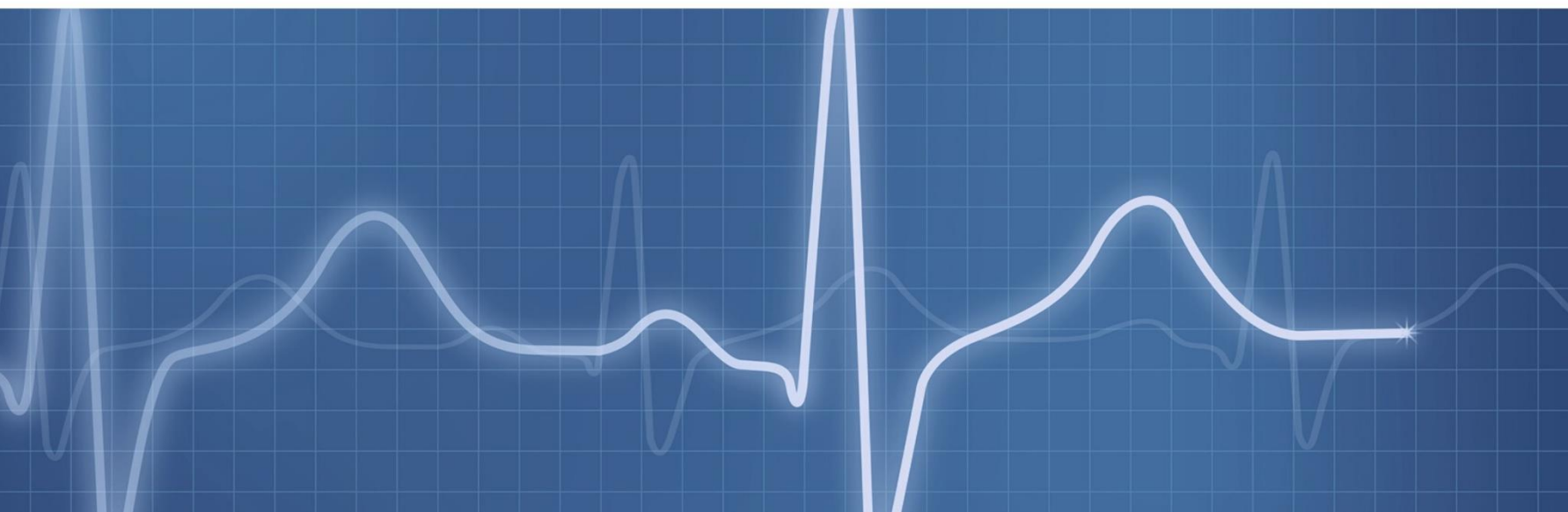


動作解析

[三次元動作解析システム KinemaTracer](#)

[姿勢計測システム ShiseiCam](#)

[足裏解析システム FootStamp](#)



波形解析

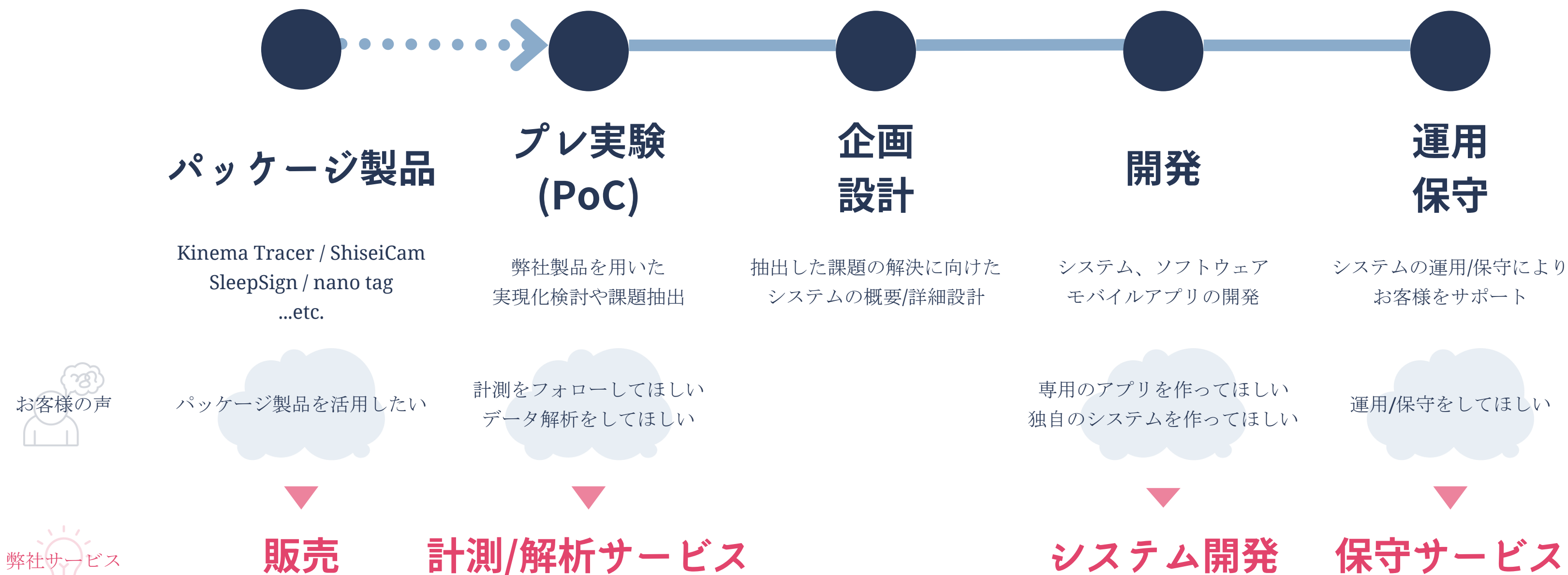
[EMG研究用プログラム BIMUTAS-Video](#)

[多用途生体情報解析プログラム BIMUTAS II](#)

[誘発電位研究用プログラム EPLYZER II](#)

システム開発はキッセイコムテックに

パッケージ製品のご利用だけではなく、お客様が行うプレ実験(PoC)などのフェーズにおいても、弊社製品やデータの計測/解析をサポートするサービスなどをご提供しています。また、その後の社会実装に向けた新システムの開発においても、設計開発から運用保守まで幅広くサポートいたします。



健康状態を見える化したい

× アプリ開発

■会員健康管理システム 松本ヘルスラボ様

会員の健康状態を「見える化」するために独自のスマホアプリを開発し、2022年2月から運用を開始した。会員自身が歩数や体重、体脂肪率などを記録できることはもちろんのこと、会員のレベルに合ったトレーニング動画や地域でのイベント情報、健康に関する情報等を発信することで会員の健康に対する意識向上と健康増進を狙う。

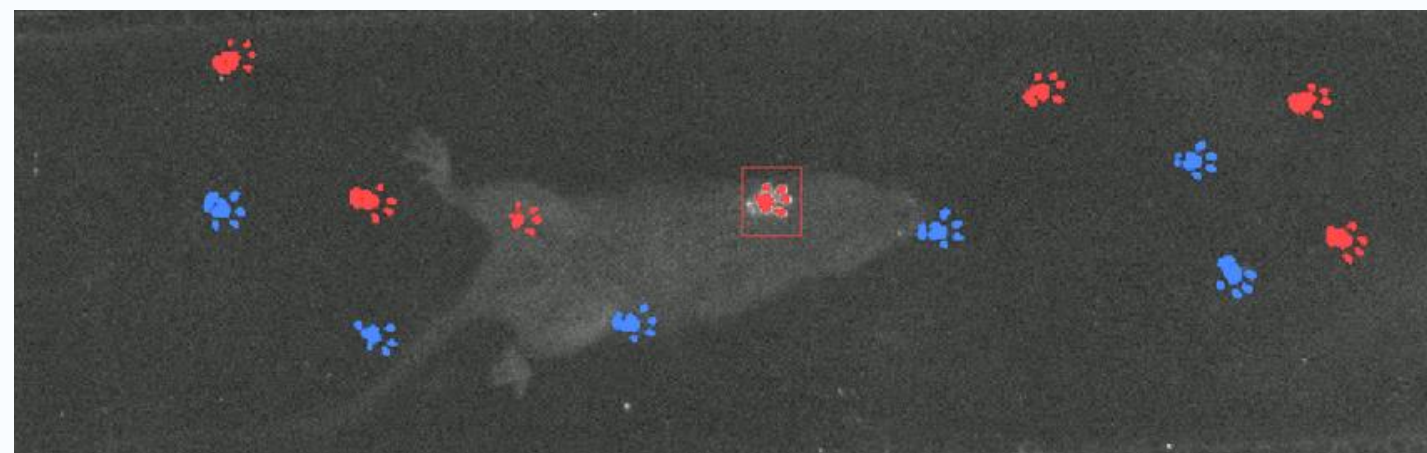


マウスの足裏の解析をしたい

× Kinema Tracer

■足裏解析システムFOOTSTAMP開発

弊社の動作解析システムをデモしている時に、お客様から動物の足裏の解析を行いたいと相談がありました。現状、インクをつけて紙の上を歩かせるアナログな実験しているが、思うようにデータが取れないので、それをデジタル化できないかという相談でした。海外製品はいくつか存在しているが高額で手が出ないことと、画面が英語なことがネックのようでした。このようなお客様の要望から、FootStampの製品の開発が始まりました。



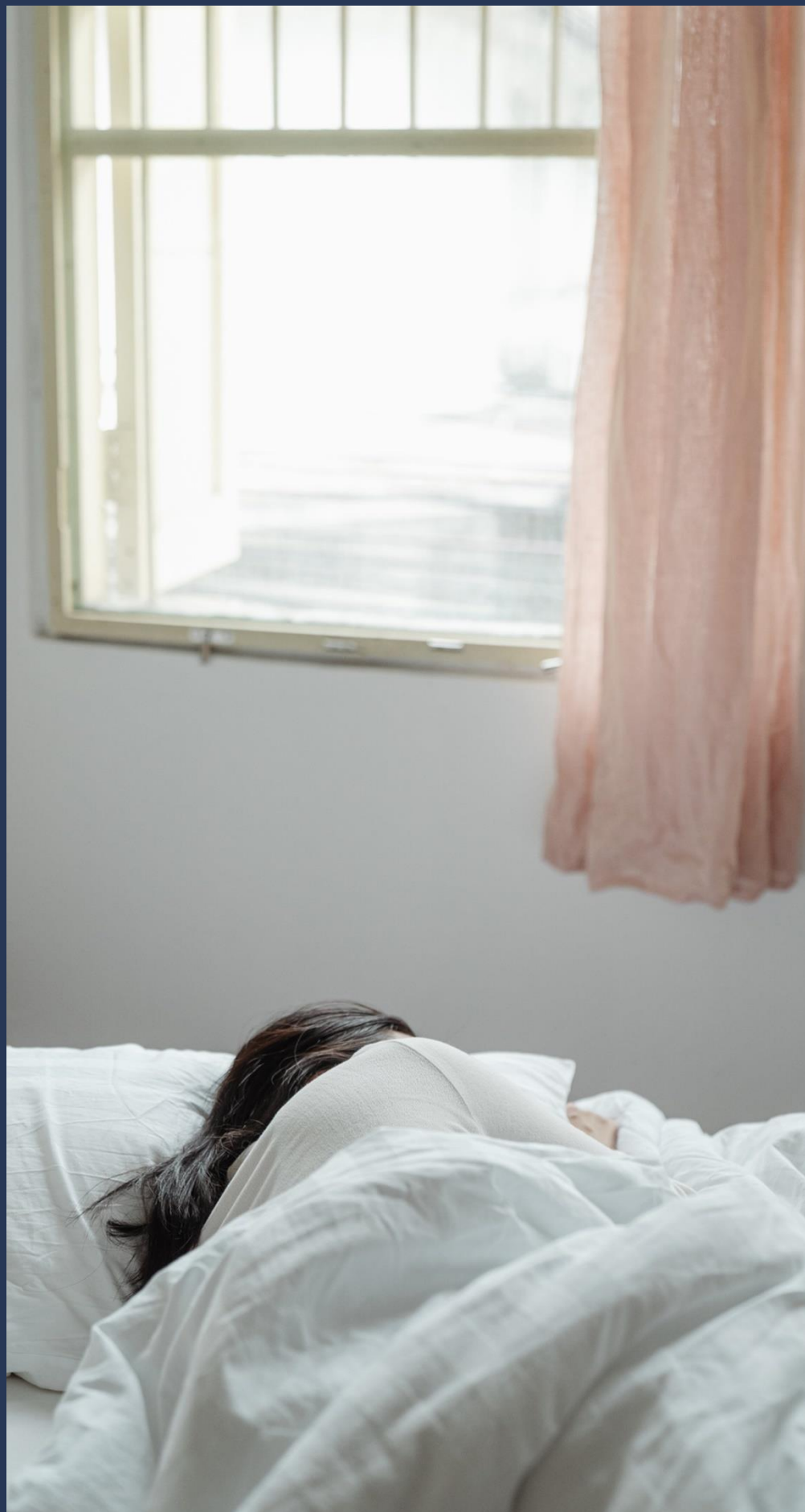


簡易に姿勢を評価したい

× ShiseiCam

■ ShiseiCam開発の背景

整形外科の先生から要望を頂いたことがきっかけ。
当時の競合製品は評価に要する時間も長く、ほぼ主観評価となっていたため、当社は短時間かつ客観的な評価が可能になるKinect（非接触で瞬時に骨格認識可能なカメラ）を提案し、製品実現へと至った。最新のセンシング技術を追いかけていたことが成功につながった。



住民の睡眠に関する不安を 取り除きたい

× SleepSign-Home

■自治体 B市 健康増進課 様

よく眠れない感覚がある、寝ても疲れが取れないなど、睡眠に不安を抱える住民に対して簡易的に睡眠状態を計測し、その結果を本人にフィードバックすることで、専門医への受診勧奨や本人の不安解消につなげている。

住民の姿勢に対する 健康意識を高めたい

× ShiseiCam

■自治体 A市 健康づくり課 様

姿勢計測システム「ShiseiCam」を導入し、保健師が各地区の公民館を回って行っている健康教室の中で姿勢を計測。個々の姿勢の良し悪しを問うのではなく、住民の健康に対する意識を高めるツールとして活用している。

年に数回行っている健康イベントでは、来場者の姿勢を計測して保健師がその場で姿勢改善のアドバイスをしている。

